特別企画

〝個性派〟という選択!

ひと味違うランクル

LAND CRUISER 76 VDJ76L

SKYAUTO

●スカイオート
☎048-976-1235
●https://www.skyauto.co.jp/

今回の仕様で販売価格は585万円（税込）

ナナマルをディーゼルで乗りたい人に

ハマーH1やアメリカンSUV &トラックのスペシャリストとして、絶大な支持を得ている『スカイオート』。ショップ自体、4駆に強いのが特長だが、今回は海外仕様のランドクルーザーの輸入と、日本での検査登録にも成功!　乗れそうで乗れなかった、憧れのランクルが手の届く存在に!

PHOTO●古閑章郎
TEXT●高坂義信

輸入SUVのスペシャリストがオススメする中東仕様のナナマル

ハマーH1オーナーズクラブの事務局をつとめるなど、その販売や整備のスペシャリストとして知られる『スカイオート』。もちろんハマーだけでなく、その取り扱いはアメ車全般におよぶ。とくにSUVやピックアップ、Jeepなどには力を注いでいて、ショップ自体のカラーはアウトドア&泥寄りといった印象だ。

だからたとえば、ランドクルーザーに興味を持ったとしても少しも不思議はないだろう。とくに70系は日本ではもう正規販売されるかどうか分からないし、それでも根強い人気のあるモデル。実際、スカイオートには問い合わせの声が多く届いていたという。

そんなわけで、輸入SUVのスペシャリストは、あっさりと70系の国内導入を実現してしまった。今回のモデルは中東から輸入した、VDJ76Lだ。モデルとしてはセミロングの4ドア、つまり日本で再販されたGRJ76と同じボディサイズで、ピックアップやトゥルーピーに比べれば扱いやすい。

ただし搭載エンジンは強力だ。4.5ℓクリーンディーゼルターボの1VD-FTV型。検査・登録はかなり大変だったらしいが、リーズナブルなプライスでデリバリーしてくれるのもうれしい。装備はシンプルだが、エアコンやパワーウインドーはしっかり標準だ。

VDJ76L

日本仕様でもおなじみのセミロング＋４ドアの“76”系。扱いやすいサイズと高いユーティリティ、そして快適なオンロード性能とオフロード走破性を両立するなど、所有するにも現実的な選択だ。ただしエンジンは強力な4.5ℓV8ディーゼルターボ、トランスミッションは５速マニュアルとなる。中東仕様のためハンドル位置は左。登録は１ナンバーとなるが、セカンドシートは３人掛けが可能で、５人乗りとなる。リヤのラゲッジスペースも、余計なものがなくシンプルそのもの。つまり広く、自分なりのアレンジで使えるってことだ。

- ◆全長×全幅×全高（㎜）：4875 × 1790 × 1955
- ◆ホイールベース（㎜）：2730
- ◆車両重量（kg）：2475
- ◆最低地上高（㎜）：235
- ◆乗車定員（名）：5
- ◆エンジン種類：V型８気筒 DOHC ディーゼルターボ
- ◆総排気量（cc）：4461
- ◆最高出力（kW/rpm）：151（205ps）/3200
- ◆最大トルク（N・m/rpm）：430（44.0kg-m）/1200～3200
- ◆トランスミッション：５速 MT
- ◆駆動方式：パートタイム 4WD
- ◆燃費（km/ℓ）：9.7
- ◆使用燃料 / タンク容量（ℓ）：軽油 /90
- ◆サスペンション　前：３リンク・コイル・リジッド
- ◆サスペンション　後：リーフ・リジッド
- ◆ブレーキ　前：ベンチレーテッド・ディスク
- ◆ブレーキ　後：ドラム
- ◆タイヤサイズ：225/95R16LT

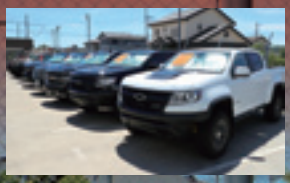
日本でも再販された GRJ76 と、ボディサイズは同じ。ただしこちらはオーバーフェンダーなしのナローボディとなる。2730㎜のホイールベースは街中での取り回しやオフローディングでもジャストサイズ。４ドアのユーティリティはファミリーにもオススメできる。

今回のグレードは LX、インテリア装備はシンプルそのものだが、エアコンやパワーウインドーなど、最低限の快適装備は確保されている。シート地はファブリック。リヤシートは一体可倒式だが、フル乗車でも荷室はかなり広い。

サスペンションはフロント／３リンク・コイル、リヤ／リーフの、前後リジッド式。タイヤは 225/95R16 というレアなサイズ。ホイールはリング式ではないがスチール製だ。前後デフロックはもちろん、現行モデルには各種の電子デバイスも充実。

エンジンは日本仕様には設定されなかった 4.5ℓ V8DOHC ターボ、1VD-FTV 型。205ps & 44kg-m のスペックだ。ちなみに同エンジンのツインターボ仕様が、海外仕様の 200 系に搭載されている。トランスミッションは５速マニュアル。第１速が 4.529 というかなり低いギア比で、クローリング走行も得意としていそうだ。４ＷＤシステムは伝統的なパートタイム方式。

とにかくその乗り味は強烈、ランクルらしいスバルタンさも味わえる。日本で再販された GRJ76 より、ファイナルが低いのか？　トランスミッションはギア比も含め同じモノだが、出足はスピードも頭打ち。しかし２、３速とシフトアップしていくと、エンジンがグインと回りだし、みるみる加速していく。もっさりした GRJ とは、完全に別物だ。この乗り味はちょっとクセになりそうなほど魅力的だ。

埼玉県越谷市南荻島 708-1

アメ車をメインにした海外仕様の車両の輸入販売だけでなく、スカイオートはアフター面でも心強い。スタッフさんは全員、整備士免許を所有。自社工場も６tリフトはじめ、計7台のリフトを用意。さらにアメリカのメーカーだけでなくメルセデスやBMW、ポルシェ、そしてトヨタなどのコンピュータ診断機を完備。こちらも正規ディーラー以上の信頼度なのだ。